

千葉県少年サッカー選手権 3年生

準決勝 第1試合

日時 2015年2月22日(日曜日)  
試合会場 千葉県青葉の森陸上競技場  
気象状況 天候 雨 ピッチ状況 天然芝  
キックオフ 10時00分

対戦チーム パサニオール誉田 大森 SC

試合結果

	0	前半	0
<b>1</b>			<b>0</b>
	1	後半	0

戦評

準決勝第1試合は、オレンジのユニフォームのパサニオール誉田(以下 PHFC)対大森 SC の戦いとなった。3年生の大会のため、15分ハーフとなる。小雨の降りしきる中の試合となった。この時期の雨は選手達の体温も奪い、立ち上がりの入り方が難しい試合だが、両チームとも気持ちが入っているせいか、序盤から良い動き出しだった。

前半は、大森 SC のキックオフからゲームが開始された。

試合開始直後からジリジリと PHFC が大森 SC 陣地内に攻め上がってのゲーム展開となった。

前半3分 PHFC3番山口君のセンターリングに7番戸枝君が合わせてシュートを打ちも GK がセーブに。同じく前半4分 PHFC7番戸枝君が、ドリブルで左サイドからゴール前まで持ち込みシュートを打つものの、GK のセーブにより得点ならず。

前半の半ばから大森 SC がジリジリと PHFC 陣内でプレーするようになって来た。それでも PHFC は9番田中拓光君を中心にボール保持時間が多くなってきている。

前半9分 PHFC9番田中拓光君のコーナーキックから10番田中晃太君がシュートを打つがポストの外へ外れる。

ここまで、PHFC がこぼれ球やクリアーボールの支配率が優位になってきている

前半13分 PHFC10番田中晃太君がシュートを打つが GK 正面でキャッチ。

シュート数・ボール支配率は PHFC が勝るが、前半は一進一退の中、0-0 で終了する。

エンドが変わり後半は、PHFC のキックオフで開始された。

後半開始はコート中央での一進一退が続いていたが、後半3分 PHFC13番鈴木君のセンタ

ーリングを7番戸枝君がミドルからシュートは放ちゴールネットを揺らした。これが先取点となる。

後半6分 PHFC 7番戸枝君が個人技でドリブルを仕掛け、ファールを誘いFKを獲る。

9番田中拓光君がFKを蹴るが惜しくもゴールバーに当たりオーバー。

後半13分大森 SC 11番伊藤君がミドルからシュートを放つがGK正面でキャッチ。

これが大森 SC 初のシュート。

後半14分 PHFC 7番戸枝君がシュートを打つもGK正面でキャッチ。

アディショナルタイム1分の表示

PHFC 9番田中拓光君がシュートを放つがGK正面でキャッチ。

大森 SC 11番伊藤君もシュートを打つがGK正面でキャッチ。

ここで、試合終了。大森 SC も粘り何本かシュートも放ったが、PHFC がシュート数の多さからも勝利。

全体的に、PHFC のパスに対するインターセプト、クリアーボールの支配率が勝り、大森は個人技で打開を狙うがゴールネットを揺らす事は出来ず、PHFC が決勝へと駒を進めた。

千葉県少年サッカー選手権 3年生

準決勝 第2試合

日時 2015年2月22日(日曜日)  
試合会場 千葉県青葉の森陸上競技場  
気象状況 天候 雨 ピッチ状況 天然芝  
キックオフ 11時00分

対戦チーム イーグルス FCラルクヴェール千葉

試合結果

	0	前半	0
<b>2</b>			<b>1</b>
	2	後半	1

戦評

準決勝第2試合は、黄色のユニフォームのイーグルス対FCラルクヴェール千葉(以下ラルクヴェール)の戦いとなった。小雨がまだ止まない中での試合となった

前半は、イーグルスのキックオフからゲームがスタートした。

はじめのチャンスはラルクヴェールに訪れ、前半3分ラルクヴェールのCKとなるが、GKに阻まれる。

この時点では、ラルクヴェールは、イーグルス陣内でのプレーが続いた。

前半8分が経過するが両チームシュートまでは行かず中盤での攻めぎあいが続いた。

ラルクヴェールは、慌てずにバックラインでパスを繋ぎサイドチェンジも行う。

前半11分ラルクヴェールは3人の交代を行う。21人エントリーしての参加だ。

前半13分が経過するもいまだに両チームシュートまで行かず中盤でのせめぎあいが続く。

前半14分ラルクヴェール7番齋藤君、この試合1本目もシュートをスライディングではあるが、放つもGK正面でキャッチ。

前半15分ラルクヴェール28番石野君FKからゴールを狙うが、ゴールポストへそれる。

ここで、0-0での前半終了

後半は、ラルクヴェールが殆どの選手を交代し、ラルクヴェールのキックオフでスタート。

後半早々、イーグルス14番成田君のクリアーボールを28番吾妻君がドリブルで持ち込むも相手DFにカット。

ラルクヴェール10番濱谷君ドリブルで3人に囲まれファールを誘いFKをもらう。

ラルクヴェール10番濱谷君FKを蹴るがイーグルス14番成田君のクリアー。このクリア

ーボールから、イーグルスのチャンス。こぼれ球を 7 番秋山君がシュートするも GK 正面でキャッチ。

ラルクヴェールはドリブルから仕掛けていく個人技、イーグルスはクリアーボールからカウンターを狙うが、シュートまでつながらず一進一退が続く。

後半 7 分ゴール前での混戦からイーグルス 18 番嶋野君のバックパスで落としたボールを 12 番海保君がシュート。GK 正面ながらも股の間を抜けてゴール。イーグルスの先制点となる。後半 8 分ラルクヴェール 10 番濱谷君がドリブルで左サイドを相手陣内深くまで切り込んでセンタリングを上げるもゴールラインを割って相手のゴールキック。

後半 10 分イーグルス 28 番吾妻君がミドルシュートを打つも GK 正面でキャッチ。

後半 11 分イーグルス 28 番吾妻君のセンタリングから 23 番西谷君がシュート。これが相手に当たりオウンゴールを誘い 2 点目。

後半 13 分ラルクヴェールがコーナーキックからチャンスを作り、10 番濱谷君コーナーキックを 24 番芳賀君がシュート。これがゴールとなり 1 点を取り返す。

そのまま試合はアディショナルタイム 1 分に突入する。

最後のチャンスはイーグルスで 23 番西谷君がシュートを打つがゴールポストに当たり外へ、ここで、試合終了。

全体的にラルクヴェールは、パスを回しながらも要所でドリブルを仕掛ける攻撃が印象に残った。ただし、イーグルスの体を張ったディフェンスと勝負どころの高い集中力がラルクヴェールを上回り、イーグルスが決勝へ駒を進めた。

準決勝にふさわしく 3 年生の段階で非常にハイレベルな試合で今後の成長に期待のできる両チームでした。

2月22日(日)

千葉市少年サッカー選手権3年生

決勝戦：パサニオール誉田 VS イーグルス

キックオフ：11:50 場所：千葉市青葉の森陸上競技場

ピッチ：芝 天候：雨 15分ハーフ

試合結果	パサニオール誉田	0	前半	0	イーグルス
	勝ち	0	後半	0	負け
		0	延長(前半)	0	
		0	延長(後半)	0	
		4	PK	2	

## 戦評

小雨が降る中、パサニオール誉田対イーグルスの決勝戦がキックオフ。前半開始2分パサニオール7番戸枝君のクリアボールをイーグルス28番吾妻君が拾い先制シュートを打つがGK4番山田君の正面のためキャッチされる。3分パサニオール19番都築君がクリアボールに反応してペナルティエリア近くまで行くがイーグルスGK8番浅野君がスライディングセーブをする。その後のパサニオールのコーナーキックとなるが、イーグルス24番政君がヘディングでクリアする。5分パサニオール22番宮崎君のアシストから19番都築君のミドルシュートを打つが枠外となった。中盤での攻守が続く、7分イーグルス24番政君に代わり18番嶋野君が入る。11分イーグルス28番吾妻君から18番嶋野君へパスが繋がり、ディフェンスに囲まれながらシュートを打つがGK正面となる。13分パサニオール22番宮崎君が代わり11番吉原君が入る。イーグルスはパスを回し、サイドチェンジやスルーパスを使い、パサニオールはドリブルやカウンターを使い攻めるが点は入らずに前半終了となる。

雨が強くなる中、後半開始となる。2分イーグルスのコーナーキックから18番嶋野君がヘディングで合わせるがGK正面となる。4分センターサークルの近くからパサニオールのフリーキックとなり、13番鈴木君がトラップしてドリブルするがイーグルス28番吾妻君に止められる。5分イーグルス15番都築君からのパスが18番嶋野君にわたりシュートを打つがGK正面。続けて、イーグルス23番西谷君からのパスが25番御園君にわたりミドルシュートを打つが枠外となる。9分パサニオールのファウルからイーグルスのフリーキックになり、パスをするがパサニオール13番鈴木君がインターセプトして、大きくクリアする。13分雨が止み選手たちの動きに疲れが見え始めてきた。パサニオール20番岡本君のクリアボールが通り、7番戸枝君が反応して相手ゴールへとドリブル突破し、シュートを打つが枠外となる。両チーム点が入らずに後半終了となる。

延長前半、晴れてきて、もやがかかり始めた。両チームともに円陣で気合いを入れ直した。1分ゴール前での混戦の中パサニオール16番田中君がシュートを打つが枠外となる。4分パサニオール19番都築君から11番吉原君へ縦パスを狙うがイーグルス28番吾妻君にインターセプトされる。その後も点は入らず前半終了。

延長後半、1分イーグルス18番嶋野君が中央からドリブル突破し、ゴールエリア近くまで行くがパサニオール10番田中君がクリアする。4分イーグルスのコーナーキックを20番岡本君がヘディングでクリアする。その後も点は入らずに後半終了。

PK戦となり両チーム円陣を組み気合いを入れ直す。パサニオール、イーグルスともに1人目はGK正面で止められる。2人目となりパサニオールは決め、イーグルスはパサニオール4番GK山田君のファインセーブによりゴールを阻止される。その後両チームともにシュートを確実に決め、4-2でパサニオールの勝利となる。

両チーム勝ちにこだわり1歩も譲らず粘り強いプレーを見せてくれた。一生懸命にプレーした選手たちに敬意を称し、今後の彼らの成長に期待したい。

千葉アミカルSC 小高裕貴